

令和 8 年度 災害・健康危機対策委員会 活動計画

■活動目標	1. 地域における連携支援体制の構築及び災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 2. 受援・支援体制の整備と強化を推進 3. 災害支援ナースのブラッシュアップとなる研修の企画推進 4. 新興感染症への看護支援体制の強化 5. 地域の防災訓練に参画し、地域住民への減災教育、防災力強化
■開催予定	6 回
■活動事業	1. 地域における連携支援体制の構築及び、災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 1) 地域における連携支援体制の構築と災害に備えた地域づくりのために、災害支援ナースに「まちの保健室」ボランティアへの登録を呼び掛ける。 2) まちの減災ナース指導者[®]・「まちの保健室」ボランティアと連携して地域の減災に取り組む体制強化を図る。 2. 受援・支援体制の整備と強化を推進 各施設での受援体制整備を進めるために、受援・支援研修を実施するとともに、災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図る。 3. 災害支援ナースのブラッシュアップとなる研修の企画推進 災害支援ナース養成研修を実施し、災害支援ナースを確保するとともに、災害支援ナース登録者のブラッシュアップ研修を企画・実施し、活動へのモチベーションの維持・向上を図る。 4. 新興感染症への看護支援体制の強化 新興感染症を含む感染症をテーマとした研修会を開催し、感染状況の動向や各施設の感染対策を共有し、感染対策の効果的な対応方法の習得につなげる。 5. 地域の防災訓練に参画し、地域住民への減災教育、防災力強化 災害支援ナースが地域で開催される JMAT 研修、防災訓練、災害対策会議等に参加し、広域災害における地域の状況に応じた連携支援体制の構築に取り組めるよう支援する。また、災害支援ナースが「まちの保健室」で防災・減災に向けた活動ができるよう交流を行うとともに、地区支部での取り組みを支援する。